

学校長 飛田 祥

周知の通り、日本は唯一の被爆国で、広島と長崎に原爆が落とされました。事前に平和学習をして修学旅行に行きましたが、社会科の歴史分野での戦時下の学習はカリキュラム上まだなので、戦争の歴史について少し難しいところもありましたが、戦争が単なる昔の出来事で終わらせるのではなく、今の自分たちの生活にどうつながっているのか、そしてこれから生きる自分たちにできることは何なのか等、「平和」について考える機会となりました。特に平和記念資料館での見学の後に、亀岡小学校で平和セレモニーを行いました。そこで平和への思いを児童が代表して宣言しましたので、お示ししたいと思います。

私たちは、今、広島の下に立っています。原爆が落とされたあの日から、七十九年が経とうとしています。もし、私

が平和学習をせずにこの広島空を見ていても、特に何も感じなかったと思います。でも、今は違います。

修学旅行に向けての平和学習で、第二次世界大戦について学びました。日本に関わりのある出来事なのに知らなかったことばっかりでした。特に印象に残っているのが、原子爆弾についての学習です。アメリカは当時のライバル国であるソ連に、自分の力の大きさを証明するために原子爆弾をこの広島と長崎に落とすという理由があることを学びました。自分たちの国が、今後優位になるという、私にとってはとてもちっぽけな理由で日本を犠牲にしたことに、とても悲しくなりました。でも、日本もいろんなひどいことをしていたことを学びました。マレー半島やハワイを攻撃したり、フィリピンやインドネシアを占拠したりしていたことです。そこに住んでいた人達も苦しんでいて、日本に対して同じ事を思っていると感じました。結局、暴力や武力で解決すること自体が間違っていたのです。

みなさんにとって、平和とは何ですか。争いや戦争がないこと。差別をせず、違い



令和6年7月号
編集発行人
京都府亀岡市内丸町15
亀岡市立亀岡小学校
飛田祥社
印刷所(株)天声社

セレモニーで黙祷をする児童たち

を認め合うこと。悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。私はこの平和学習でいろんな平和の価値観があると学びました。そして、何より大切なのが「命」であると感じました。

平和を守っていくために大切なこと。それは、今、世界で何が起っているのかを知ろうとすること、自分のできることを考えて行動すること、そして、相手の気持ちを考えてやる心をもつこと、だと私は思います。五十年後も、百年後も平和な日本や世界になっているように。まずは龜岡小学校から平和な世界を作っていきたいと思います。そして、まずは自分のできることを実行していききたいと思います。

多くの犠牲者を出した、この広島ので、私は宣言します。

宣言の後半、平和を人任せにするのではなく、自分たちで何とかしていこうという決意が感じられます。本当にすてきな子どもたちだなと修学旅行の平和学習を通して感じました。

[illegible]

七月行事予定表

生活科「げんきにぞだて
わたしのはな」あさがおの
はなをかんさつしたよ



一年
はつばをさわるく、さくらしてました。はつ
ばのかたちはクローバーみたいでした。はつばのか
ずは二十一まいでした。きれいだとおもいました。

一年
はつばをさわるく、さくらしてました。はつ
ばのかたちはふんふんみたいです。はつばのかずは
二十三まいでした。どんどんおおくくなってきれ
いになるとおもいました。

一年
はつばをさわるく、さくらしてました。はつ
ばのかたちはハートみたいです。はつばのかずは
十まいでした。

一年
はつばをさわるく、さくらしてました。はつ
ばのかたちはソーセイジみたいです。はつばのか
ずは十九まいでした。はなをさくみてみたい
です。

一年
はつばをさわるく、さくらしてました。はつ
ばのかたちは、ちようみみたいです。おおくさは、
わたしのよりすこおおくいです。もつとこつ
とこれからもみずをあげようとおもいます。

一年
はつばのかたちは、くもみたいです。はつばの
かすは、十五まいでした。はなは十二さきそ
うです。きれいなはながさいてほしいとおもいま
した。

一年
はつばをさわるく、さくらしてました。はつ
ばのかたちは、ちようちようみたいです。おおくさ

は、てのはんぐんぐんいます。もつとつとおお
きくなりそうなので、おせわをがんばりたいと
おもいました。

一年
はつばをさわるく、さくらしてました。はつ
ばのかたちはもみみたいです。はつばのかずは
十一まいでした。がんばってみずやりをしよう
とおもいました。

かんさつ名人になろう

生活科の学習で野菜を育てています。
自分で選んだ野菜の苗を植えたときに、観
察もして記録しました。

二年
わたしは、きゅうりをそだてています。

はつばの形はハートみたいです。色はみどり色
できれいでした。さわってみるとさくらして
ました。はつばがちょっと大きくなっていま
した。大きくなったのがうれしかったです。
つきにかんさつしたときはもつと大きくなつ
ていると思います。

二年
ぼくは、おくらをそだてています。

はつばはさわってみるとさくらしていま
した。かたちはすいかのわれめみたいです。
おくらはいちようしたようです。大きさは
じおんの手よりちよつと大きくなつていま
した。よくみてかんさつしました。

二年
わたしは、きゅうりをそだてています。

きゅうりのはつばにはあながあいていま
した。はつばの形はハートみたいです。大きさは手のひ
らくらいです。さわってみるとちくちくします。
くきはまたちいさいです。
どんどん大きくなってほしいです。

二年
ぼくは、きゅうりのなえをかんさつしました。

はつばの形はハートみたいで、ギザギザして
います。はつばの色はみどり色です。はつばとく
きは、ちくちくします。はつばには線がいつぱいあ
ります。数は七まいです。虫がはつばについて
ました。
早くそだてておかあさんとおねえちゃんと食
べたいです。

一年
ぼくは、ピーマンのなえをかんさつしました。

線がいつぱいあるはつばで形は、たまごま
た。色はみどり色です。
さわってみると、さくらしてました。
ママに食べてほしいです。やさいをそだてるの
がたのしいです。

二年
わたしは、きゅうりのなえをかんさつしま
した。

はつばの形はハートみたいな形をしていま
した。つちにちや色い虫がついていました。
はやくきゅうりがなつておかあさんに見せた
いです。これからも水やりをやって、きゅうりを
たべたいです。

三年
夏の夜

花火の花よ
さきはこれ

三年
夏のむし

ぜんぶとりた
い

三年
夏のスイカ

スイカは丸い？
そうでもない
しかしいスイカもあるんだぞ
でも一番のポイントはい
おしい



かき氷

三年

かき氷

食べたらシャリシャリ

おいしいな

シャリシャリ

いいおとだ

千代川浄水場を見学して

四年生は、社会見学で千代川浄水場に行きました。そこで職員さんの話を聞いて
思ったことや取水井を見学して感じたこと
を書きました。

感想

四年

魚のこいがわたしたちのためにみんなが飲め
るか命がけでやってくれているのを初めて知りま
した。365日休まずに、みんなのために水の
けんさをしていて、今私たちが安全・安心
して飲むことができて分りました。
水の中にきん、汚れが分りました。安全に分
りませんでした。その後に見せてくれた水はとて
も冷たくて、キンキンに冷えていました。

千代川浄水場見学に行った感想

四年

千代川浄水場がきれいにしている亀岡市の水
はとてきれいで、消毒用の塩素を入れたく
ても飲めるほどきれいだということが分りました。
消毒用塩素を入れないと家庭に送ってはダメと
いうことが分りました。消毒が入っているのと
入っていないのは、ある薬を入れてピンク色にな
ると消毒が入っている証拠だということに驚きま
した。地下水をくみ上げていることにびっくり
しました。24時間365日働いているということ
がすごいいいと思いました。

千代川浄水場見学

四年

ぼくが千代川浄水場に見学に行った驚いたこと
がいくつかあります。

まず一つ目は、365日24時間年中無休で働いているのがすごいと思いました。

二つ目は、亀岡の水道についてです。亀岡市に初めて水道が通ったのが65年前だと知って結構最近だなーと思いました。僕は、80年くらい前だと思っていた。

きれいな亀岡の水

四年

浄水場を見学してまず初めに思った事は、亀岡の水はこんなにきれいなんだということ。地下水を初めて見たとき、亀岡の水は消毒をしなくても消毒をした後の水のように見えまし

た。そして、昔は水を飲むだけで、年間10万人の人がなくなっていたと初めて知りました。一日にしても800人くらいの人になくなっていったと聞いてとてもびっくりしました。

千代川浄水場はすごいぞ！

四年

もし浄水場の機械が全部壊れたらどうするのだろうか。

地下水まで40mあるということを知りました。池や水そうで、魚が死なないか実験をしているということを知りました。

水道は173年前にできたことや、じゃ口をひねるだけで水が飲める国は10カ国ということを知りました。

とう明なピンに地下水を入れて、もう一つはじゃ口の水をいれてどちらか見分けられることを知れたし、すごいと思いました。西田さん達はいろいろなことを知っていたり、くわしくて、すごいと思いました。

水の大切さ

四年

私は浄水場を見学して水がどれだけ大切かや水道がない国がたくさんあることを知りました。水道がない国があって、その国の人は川から水をくみ上げてきて、それが子どもの仕事で、学校に行けないからかわいそうだなと思いました。

あと水道がある国が10こしかなくて、アメリカや日本に水道があって、アフリカや暖かい国に水道がないと、すごいのがかわいて、川の水だから病気になっている人が多いと聞いて大変だなと思いました。水道のない国は世界中にたくさんあって、水道のある国はめずらしいんだなと思いました。水道のない国で近くに川がなかったらどうするのかが知りたいです。水道がない国に行つてどれだけ大変か知つてみたい。これから、水を大切に、水道のない国の大変さを考えて水を使つて行きたいのと、家族のだからがむだ使いしてたら注意したいです。水がどれだけ大切かを大人になつても忘れずに、いつまでも水を大切にしたいです。



野外学習に向けて

先月行った野外学習について、考えた各自の目標を紹介します。

五年

私は生活長をします。生活長は、朝の健康観察や反省会をまとめたり、布団のたたみ方をみんなに教えたりするなど大切な役割です。ルーメンテックの時は、一発で合格ができるように協力し合いたいと思います。責任をもって、自分の役割に取り組みたいです。

野外学習は学校とはちがう学お場所です。家族とはなれるので、不安もありますが、私は楽しみたいと思います。わからないことがある人には教えてあげたり、遊んでいる人がいたら注意をしりたいです。使つた物はきちんときれいに元に戻し、来たときよりも美しく、次の人のことを考えて行動する二日間になりたいです。

帰ってきたときは、少し成長した姿だと思います。それからクラスのみんなと今よりも仲良くできたらいいと思います。いい思い出にしたいです。

五年

野外学習では、だれもけがせず安全にみんな帰れるよう、気をつけて楽しみたいと思つてい

ます。学校ではないところで助け合ったり、自律できたらいいと思います。

私の中のスローガンは「ポジティブ言葉をお願いします、自分で考え協力し合う」です。学習をするのが一番の目的なので、しっかりとルールを守り、楽しみながらいろいろな事を体験したいです。けがをしないよう気をつけていても、うっかりけがをおつてしまふことはあります。そんな時こそ「協力し合い」「ポジティブ言葉」を使つて、仲間を助けてあげようと思います。野外学習までに自分の事は自分でしっかりと管理し、考えを行動にうつせるようにならばいいです。

この野外学習が楽しくて、いい思い出になるようにふだんから一つ一つの行動をあらためて、自分を見直す力をつけるのが大切だと感じました。

五年

ばくが立てた野外学習の目標は、「協力すること」と「楽しく過ごす」の二つです。理由はそれぞれ一つずつあります。

一つ目の「協力する」についての理由は、まだこの学年になって二月ほどしか経っていないので、まだ友達知らないことがたくさんあるのでも、これを機に活動班や部員が一緒になった人と仲良くなりたいたいと考えたからです。

二つ目の「楽しく過ごす」についての理由は、五年生の一大行事といえば「野外学習」だと思つているので、もしそれが楽しくない思い出になつてしまつたら、ずつといやな気持ちになつてしまふからです。

だから僕は、野外学習でみんなと協力して楽しく過ごしたいと思つています。

五年

わたしは、野外学習でがんばりたいことが二つあります。

一つ目は、生活長をがんばることです。理由は、生活長はシャツや布団などのたたみ方や使い方を覚えて、班のみんなに教えないといけないからです。

二つ目は、活動班のことです。生活長の役割として、時間も見えないとためだし、もし遅れたら、みんなに迷惑がかかるからです。

野外学習は一回しかないから、色々な事を学んだり経験したりして、楽しい思い出をつくらうと思つています。

五年

僕は、野外学習でがんばることがあります。それは、活動長としてキャンプファイヤーの準備をしたり練習をしたりすることです。他にも自分の係ではないことも進んで協力して、みんなの役に立ちたいです。色々なことをがんばれば、野外学習が楽しくなると思います。

スローガンの通り、安全を守つて協力をして、楽しんでいい思い出になるように、活動長として責任をもつて野外学習にのぞみたい。です。

五年

わたしは、スローガンの「安全・協力・楽しんで、良い思い出づくりをしよう」を達成するために、自分自身がしっかりと役割を果たすことが大切だと思います。

わたしは生活長なので、みんなに布団のたたみ方などを教えて、みんながしっかりと整理整頓してもらえようようにしたいです。

だから一人でも正しいことをしていかつたら、自分が声をかけて安全にできるようにしたいです。野外学習までもう少しなので、自分のできることをしっかりと考えて、楽しい野外学習にしたいです。

修学旅行をふり返って

六年

私はこの二日間で心に残つたこと、心が動いたことがあります。

まず、心に残つたことは、初めてジェットコースターに乗つたことです。初めて体験して、ジェットコースターが楽しいことを知りました。挑戦して新しいことを知り、挑戦することは大切だと思います。

次に、心が動いたことです。



それはみんなが時間を意識して行動していたことです。宮島水族館でも姫路セントラルパークでもそんな時でもさうでした。私は、そんなみんながさうなこと思いました。それとも一つあります。



それは、みんながやらなければいけないことをきちんとやっていたことです。寝る前に次の日の準備をやっていたり、新幹線の中で前日のふり返りを書いていたりしていました。私もそうしてました。五年生の時ならできていなかっただけかもしれません。でも、それができて今の六年生は明らかに成長していると思います。

そして、これからの学校生活につなげたいことがあります。やるべきことをやるということ、新しいことに挑戦すること、時間を意識して行動することです。これらは中学生になる上でも必要なことだと思います。これからも、これらのことを意識していきたいです。

六年

ぼくは修学旅行を終えて、学んだことが三つあります。

一つ目は、「自己中心的な行動をしないこと」です。この修学旅行は、班で動くことが多く集団で動く力が大切でした。また、一般の方もいらつしたので、一人でもどこかに行くと大変なことになります。自己中心的な行動をせず、みんなで行動することの大切さを学びました。

二つ目は、「把握する力」です。次、何があるのかを知っていないと、他の人に迷惑をかける場面がたくさんあります。特に、電車や新幹線の乗り換えは見通しが大切です。しおりを何度も読んで、見通しをもつて行動する中で、把握する力の大切さを学びました。この力のおかげでスムーズに行動できたと思います。

三つ目は、学んだことではありませんが楽しめたことです。楽しみにしていた修学旅行を思い切り楽しめて、最高の修学旅行にできました。修学旅行で学んだ多くのことを、これから学校生活で生かしていきたい、学校全体に広めたいです。そして、日本一と言われるくらいに

すごい亀岡小学校にしていきたいです。また、自分たちがいない間に代わりががんばってくれた五年生、お世話になった先生方や家族にも感謝の気持ちを伝え、恩返しをしていきたいです。

六年

私は、修学旅行に行く前の自分とは、確実に変わっていると思います。金曜日当日まで平和学習や班決め、部屋決め、しおりの確認、実行委員など様々な準備をしてきました。二日間の修学旅行で特に心が動いたことが平和資料館でのことです。数々の遺品やメッセージ、当時の写真、その場の空気が私の想像を超えていて、今の自分がいかに平和な生活を送っているか考えさせられました。授業でやるよりも文で見るよりも重みが伝わりました。これからは改めて平和について学び、考えを深めたいです。

二日目、姫路セントラルパークでは、時間を守る行動がたくさんありました。時間厳守、その意識を常に持つことが必要な力だと改めて感じました。さらに、様々な人との関わりがあった修学旅行で大事だと感じたことは感謝を伝えることです。先生、引率してくださった方、朝からお見送りに来てくださった方、施設の方々、これらの人がいてこそ、修学旅行ができたんだと思います。まずは、「一言「ありがとう。」を言うことが一番だと感じたし、このようなことをこれから生活でつなげて、さらなる成長を目指す」と思います。

「素敵な出逢い」

四年担任

「亀岡小学校の子たちは、どんな子たちなんだろう・・・」

期待と不安が入り交じる中、亀岡小学校に異動してきました。初めて出会う亀岡小学校の子たち。気持ちの良い挨拶が初日から飛び交います。声、表情、礼儀正しい態度。本当に清々しい気持ちになりました。

「亀岡小学校の子たちは、本当に素敵な挨拶ができます。」
そんな思いになりながら、四年生の担任が始

まりました。初めて出会う四年生の子たち。目をキラキラ輝かせ、私を迎えてくれました。期待と不安が入り交じっていた私の気持ちが、期待一色へと変わった瞬間でした。

今、素敵な子たちとの出会いが始まって数ヶ月が経ちます。毎日関わっていく中で、子たちの成長を著しく感じる日々です。昨日うまくいかなかったことを今日こそはリベンジする気持ちで、ひたむきに頑張ろうとする姿、やるべきことを一生懸命に取り組もうとする姿、共に学ぶ仲間を大切にしようとする姿を・・・毎日、素敵な姿を見せてくれる四年生が私に力を与えてくれています。

私が子たちと接していく中で大切にしていることは、「時間管理・整理整頓・後片付け・挨拶」です。これは、社会人として働く者にとっても意識していかなければならないことだと思っています。ただ、社会人である大人が大切で、子たちはそうでないのか。決して、そんなことはありません。人と関わるようになっていく中で、誰しもが大切にしていかなければならないことだと思っています。どんな場面でも、常に四つのことを意識し、子たちと一緒に動いています。はじめは、なかなかうまくいかず、意識できないことが多くありましたが、その度に、自分たちで考え、次にどうする方がよいのかをみんなで考える。前向きな気持ちで忘れず、一歩ずつ確実に成長を遂げていきます。

数ヶ月経った今、時間を見て行動する姿や時間内に協力して後片付けを徹底して終わらせようとする姿、気づいた子たちが声を掛け合う姿など、高学年に向けて着々と歩みを進めています。

人の成長に欠かせないものは、経験、継続、意識です。たくさんを経験するからこそ、自分の引き出しが増え、考えやアイデアが生まれます。意識をするからこそアレンジが加わり、さらに良い経験になります。そして、続けるからこそ定着し、そのことが自分の糧となります。そうやって、少しずつ大人になっていくのだと思います。目の前で、日々一生懸命に学校生活を送っている子たちこそです。様々な取り組み

などを経験し、自分の糧にしていきたいと思います。今、四年生として、何事も一生懸命に取り組むを経験し続けている子たち。これからの育ちが本当に楽しみです。

体を動かして心も体も健康に

健康安全部

休み時間になり、グラウンドや中庭、さくらがおかを見ると、多くの子どもたちが遊んでいる様子が見られます。遊具を使って遊んでいる子、友だちと一緒にドッチボールやおにごっこ、サッカーを楽しんでいる子がいるようです。

小学校生活の中で、しっかりと体を動かして遊ぶことの大切さを感じる瞬間が二度ありました。一度目は、三時間目のことです。中間休みから帰って来た子どもたちは、

「楽しかったー」

「めっちゃ汗かいたわー」と勢いよく教室に帰って来ました。その後、集中して学習ができるのか心配をしましたが、子どもたちは気持ちを切り替えて、しっかりと学習に向かうことができました。めいめい遊びながら、遊べたことの満足感からか、うまく気持ちの切り替えができたのではないかと思います。

二度目は、遊んでいる中で、友だちとけんかしてしまったときのことです。けんかをしてしまった時でも、次は仲良く遊びたい、そのためにはどうしたら良いのかを考え、自分たちの力で解決しようとする姿も見られました。遊びを通して、人との関わり方を学んでいるのだと思いました。

最近、子どもたちの日常生活で、思いっきり体を動かして遊ぶ機会も減っているように思います。体を動かして遊ぶことで、気持ちの切り替えの仕方を学んだり、友だちとの関わり方を学んだりできるチャンスだと考えます。また、これからの季節は熱中症予防の観点からも、外で遊ばないという日も増えます。そのような時は、教室や体育館での遊びを中心に、これからは子どもたちの遊びを通して学ぶ力の育ちを見守っていきたいと思っています。